

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう!



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

日本IBMで組合加入つづく

「パワハラ、もうガマンできない」 昨年12月から連続9人



「上司による不当な差別評価、パワハラをやめよ」と宣伝 (7月1日 埼玉・日本IBM大宮西事業所前)

日本IBMでは、低評価、PIP(業務改善プログラム)、賃下げの「パワハラ3点セット」とのたたかいをすすめながら、連続的に組合への加入者を迎えています。この6月には2人が加入。うち1人(57歳)は、バンド8の高職位で、職場に影響力をもつ人です。

1月からの加入者の全員がTSS(カスタマー・エンジニア)部門です。全国の事業所で社員が働いている同部門では、「部下へのパワハラ」「残業代不払い」「退職強要」「賃金・一時金カット」など、なんでもありのパワハラが横行。「これ以上ガマンできない」という社員が労働組合に相談し加入しています。支部は、「労働組合に加入し、パワハラをやめさせよう」と、東京・箱崎の本社前をはじめ、事業所での宣伝に力を入れています。

昨年大会時現勢突破まで70人 定期大会を増勢で迎えよう

JMITUは7月13~14日、第8回定期大会を迎えます。2019年度は「パワハラをなくしたい」「賃金をなんとかしたい」などの要求から、新加入・結成支部が相つぎました。日本IBMでの連続した組合員加入や通信産業本部での正社員を含めた組合加入がすすみました。

最新の6・1現勢調査では、昨年比約70人のマイナスというところで奮闘しています。7月で「試用期間」が切れる新入社員の加入など、全国の方で定期大会を増勢で迎えようとよびかけています。

全労連共済で組合員の生活まもろう



「セット共済」など全労連共済説明会 (岩手・東洋工機支部)

岩手・東洋工機支部で共済説明会

岩手県奥州市にある東洋工機支部は、なかなか安定しない会社の経営状況のなか、若手の退社や組合員の退職などによって、組合員は現在8人と少なくなっています。組合員は各職場のリーダー的存在で、残業や出張など仕事に追われ、会議をもつことも困難になっていました。

そうしたなか、「新たにセット共済をスタートさせた全労連共済の説明会からはじめてみ

よう」と6月21日、西中央執行委員を迎えて、全労連共済会の説明会がおこなわれました。この日も残業や出張が入っているなか、委員長など4人が集まってくれました。

東洋工機支部の結成は20年余前。共済には当初から加入しています。組織として慶弔のほか、慶弔火災、交通災害にも加入するなど、いざというときに組合員が多少でも助かるよう、労働組合としての厚生活動の一つとして位置づけています。

しかし、火災や生命・医療など、各自が個人として加入し、「小さな掛け金で大きな保障」という全労連共済の一番の魅力を生かしたとりくみは十分ではありませんでした。

加藤元委員長が、「自動車共済には家族全員の車が入っているけど、他の個人共済にはまだ未加入。先々のことを考えたら、セット共済に入っていた方がいいなと思う」と口火をきりました。

話し合ってみると、奥さんや地域のついでで生協の共済に入っていることなどもわかりました。説明会では、欠席者に資料を手渡し家族と相談してもらうこと、支部としてもう1回、2回と相談会をもつことを決めました。組合員どうしの助け合いの全労連共済のとりくみを通じて、支部活動も少しずつ元気にしていこうと話し合いました。

マクロ経済スライドで20年後は7兆円減!

「老後に2000万円必要」

参院選挙点 年金問題が急浮上!

「公的年金だけでは老後に2000万円必要」との金融庁の報告書に対し、「どうやれば2000万円もためられるのか」と、国民の怒りや不安がひろがっているところにきて、新たな事実の発覚です。「マクロ経済スライドで20年後には、国民の年金が7兆円も減る」というもの。

終盤国会での党首討論。日本共産党の志位委員

長の追及に、安倍首相が「(マクロ経済スライドを)やめたら7兆円不足する」こと、つまり物価や賃金が上がっても給付を抑える現在のシステムで、この先7兆円の給付が削減されていくことを自ら認めた格好です。

厚生労働省が志位委員長に提出した資料によれば、基礎年金(国民年金)の給付額は、現在40年間かけつづけて満額が6万5000円ですが、20年後の2040年には4万数千円(総額25兆円から18兆円に)に抑制されることになっています。

いまでも低すぎる国民年金が3割もカットされたら、とても生活はなりたちません。

みんなで選挙! 安倍内閣を退陣に追い込もう

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。